

たいと考える。

いのうら まり／お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科 比較社会文化学専攻

日中語の指示詞の対照研究

王 湘榕

1. 研究目的

本発表で注目した指示表現は、結束性 (COHESION) を示す重要な指標の一つとして研究されている。「結束性」とは、文章を単なる文の集合ではなく、意味的に一貫性をもったまとまりとして成立させるための表層的な結びつきのことを指す。近年、日本語学の文章論において、「結束性」の性質をふまえた指示研究が、数多くの研究者によってなされてきている。しかし、他言語との対照研究はまだ充分とは言えない。そこで、「結束性」を支える一要素として、日中両テキストに出現する指示表現に注目した。

2. 研究の紹介

(1) 日中の指示表現の基本

日本語の指示詞は「コソア」の三体系で、中国語の指示詞は「這 (zhe)、那 (na)」の二体系である。中国語では、話し手が自分との距離が物理的または心理的に近いと認識しているものを「這 (zhe)」で指し示し、逆に「遠い」と感じるものを「那 (na)」で示す。

(2) 実際の使用について

分析にあたっては、村上春樹の「ノルウェイの森」とそれを中国語に訳した翻訳版をデータとして用いた。日本語版の指示表現とその部分に対応する中国語版の指示表現を対照させた結果、次のような結果が得られた。

まず、日本語の近称「コ」は中国語の近称「這 (zhe)」に、日本語の遠称「ア」は中国語の遠称「那 (na)」に翻訳されることが大多数であった。しかし、日本語の中称「ソ」については、「這 (zhe)」の使用もみられ、「那 (na)」とそれほど一致していないことが分かった。例えば、「どうしてそんなことが分かるの？」の「そんな」、「それ一本気で言ってるの？」の「それ」、「あなたがそう言ってくれて私とても嬉しいの」の「そう」などのソ系の例文が、「那 (na)」ではなく「這 (zhe)」で訳されていた。その理由として、中国語の指示詞は、日本語のそれと異なり、聞き手要素を取り外し、話し手とのかかわりの有無により使い分けられることが挙げられる。つまり、対象が「われわれ」の領域に属するものとして捉える場合は「這」で指し示し、「われわれ」の領域の外にあるものを「那」で指し示すのである。

3. 今後の展望

今後は、日本語の指示詞「ソ」系が中国語の近称「這 (zhe)」に訳されている例文から、日中のテキストの結束性の相違点を観察していきたい。また、データを増やすことで、本研究で得られた結果の妥当性や一般性を検討する必要がある。最終的には、指示詞以外のテキストの一貫性や結束性を成立させる要因について、広く研究していきたい。

おう しょうよう／お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科 比較社会文化学専攻

三島由紀夫の戯曲の表現

高橋 由衣子

1. 研究動機・背景

三島由紀夫の研究においては戯曲、小説ともに作品論が多い。一般的に、戯曲の研究となると文学論的なものや劇評であることが多い。また、日本語学分野の研究において、戯曲を扱っている研究はまだ少ない。

また、ト書きや台詞を総合的に考察した研究、小説の会話文と戯曲の台詞、小説の地の文と戯曲のト書きを比較した研究はほとんどない。そのため、三島由紀夫の戯曲と短編小説とを、表現に着目し、比較することによって、三島戯曲の表現について明らかにする。